

TSUBASA Adviser

治療成績の向上にともない血液がん・小児がんが「暮らしながらの治療、治療しながらの暮らし」となってきました。それは大変良い事ですが、長期の治療費支払い、治療による体調・外面変化等の様々な困難が生じてもあります。

つばさは常に「いま当事者がとても必要としていること」に手を差し伸べたいと考えます。2015年もこれまでと同様に行うのが、フォーラム（定例（東京）、in 京都、in 佐賀、in 埼玉、in 大阪）です。一方、今年からは運営母体をつばさ自身に移して行うのが、血液がん電話相談です。また、つばさ支援基金は助成対象と助成内容を一新しての再出発です。

つばさでは、以上の事業を粛々と進めていくにあたって折々に専門のお立場からアドヴァイスをお願いすることにしました。特に「血液がん電話相談センター」の事業報告を定期的に行い、あればご助言をいただいて、より良い相談対応を行いたいと心がけていきます。

2015年4月現在、アドバイザーをお引き受けいただいておりますのは次の皆様です。
尚、ご就任期間は3年間をお願いしております。

岡本真一郎先生	慶應義塾大学病院 血液内科／（公財）日本骨髄バンク理事
小寺良尚先生	愛知医科大学 造血細胞移植振興寄附講座 ／（公財）日本骨髄バンク副理事長
後藤雄子先生	大阪大学大学院医学系研究科 脳神経機能再生学
木村晋也先生	佐賀大学医学部附属病院 血液・呼吸器・腫瘍内科
亀井美智先生	名古屋市立大学病院 小児・血液腫瘍

※就任ご快諾日順